

もっと知ろうよ I C A 8 I C A の出版物 (1)

I C A 出版物の全容を示す資料としては、I C A が発行した1994年版の出版目録がある。I C A 創立以来これまでに160タイトルあまりの出版物が発行された。その中には『アルキバム』、『ジューナス』などの機関誌とともに、I C A が発行した研究書や資料所在ガイド、I C A の下部機関が発行する逐次刊行物、I C A がユネスコとの協力のもとで行う RAMP 研究の報告書50点余などがみえている。そのうち今回はほぼ毎年出版されている『アルキバム』、『ジューナス』、『I C A 円卓会議記録集』の3つを簡単に説明しよう。

アルキバム ARCHIVUM—文書と文書館の国際情勢を概観する I C A 機関誌、vol.1—41および別冊1、2は、いずれも K.G.Sauer というドイツの出版社が発行している。4年に1度の大会の記録集であったり、各国の文書館法令集成や各国文書館名鑑などの内容であることが多い。1951年 vol.1 を発行して以来、ほぼ毎年1冊の割合で発行が維持されてきている。

I C A 円卓会議記録集—1954年の第1回パリ円

卓会議開催以来、1990年の第27回ドレスデン円卓会議までは、いずれも議事録が発行されている。途中1982年に第1回から19回までの円卓会議議事録の総索引も発行された。発行者は1～9回までがドクメンテーション・フランセーズ、10～25回はドイツ連邦文書館、26、27回はイタリア中央文書局。1991年の第28回円卓会議から後の記録集は、1995年の円卓会議で JANUS (後述) に引き継がれることが決まったが、1996年8月現在、出版にまでは至っていない。

ジューナス JUNUS—I C A の逐次刊行物15種類のなかの一つで、I C A が提供する世界の文書館学の知識交流の場と位置付けられている。『アルキバム』が I C A 全体活動に関わる記録や報告を掲載するのに対して、『ジューナス』は I C A の諸団体がおこなうイベントの記録や、I C A に積極的に関与している個人の専門的な著作を集約して世界の文書館関係者に周知させようとする役割を果たしている。(次号に続く)

(小川千代子 国際資料研究所)